



エチレンジリコール用  
急性中毒症例調査用紙

資料7

治療

エチレンジリコール用  
急性中毒症例調査用紙

サマリー・コメント

資料7

検査項目	治療小分類	内容	内 容		
消化管除染	消化管除染の有無	1. 無し、2. 有り	消化管除染の有無	1. 無し、2. 有り	
胃洗浄	胃洗浄	月 日 時 洗浄液	胃洗浄	月 日 時 洗浄液	
催吐・物理刺激	催吐・物理刺激	月 日 時	催吐・物理刺激	月 日 時	
催吐・吐き戻し	催吐・吐き戻し	月 日 時	催吐・吐き戻し	月 日 時	
その他	その他		その他		
対症療法	酸素マスク	1. 無し、2. 有り	対症療法	酸素マスク	1. 無し、2. 有り
・支持療法	輸液	1. 無し、2. 有り	・支持療法	輸液	1. 無し、2. 有り
アンドレシスの補正	アンドレシスの補正	1. 無し、2. 有り	アンドレシスの補正	アンドレシスの補正	1. 無し、2. 有り
抗吐薬剤の使用	抗吐薬剤の使用	1. 無し、2. 有り	抗吐薬剤の使用	抗吐薬剤の使用	1. 無し、2. 有り
昇圧剤の使用	昇圧剤の使用	1. 無し、2. 有り	昇圧剤の使用	昇圧剤の使用	1. 無し、2. 有り
その他	その他		その他		
解毒剤・拮抗剤の使用	解毒剤・拮抗剤の使用	1. 無し、2. 有り	解毒剤・拮抗剤の使用	エタノール	経路(静注・静口・その他) 一回投与量 mL× 回 開始月 日～月 日 使用物質・濃度( )
薬物	4-MP	経路(静注・経口・その他) 一回投与量 mL× 回 開始月 日～月 日 薬物(静注・皮下・筋注・その他)	薬物	薬物	経路(静注・筋注・その他) 一回投与量 mg× 回 開始月 日～月 日 薬物(静注・皮下・筋注・その他)
薬物	チアミン	経路(静注・皮下・筋注・その他) 一回投与量 mg× 回 開始月 日～月 日 チアミン	薬物	ビタミンB12	経路(静注・皮下・筋注・その他) 一回投与量 mg× 回 開始月 日～月 日 ビタミンB12
その他	その他		その他	強利尿	1. 無し、2. 有り 月 日
				血液透析	1. 無し、2. 有り 月 日 時間× 回
				腹膜透析	1. 無し、2. 有り 月 日 時間× 回
				血液灌流吸着	1. 無し、2. 有り 月 日 時間× 回
				血液灌流洗浄	1. 無し、2. 有り 月 日 時間× 回
				その他	
				無効	経過観察 1. 無し、2. 有り
				拒否	1. 無し、2. 有り
その他	治療副選 標記算項				

原因物質 分析の有無 1. 無し、2. 有り(定性・定量) 検体：血清・尿・その他( )

化学物質名 1. エチレンジリコール、8. その他( )

分析方法 1. ガスクロマトグラフィー、8. その他( )

結果 検体採取 月 日 時 分 定量値 單位 特記事項  
月 日 時 分  
月 日 時 分

## 資料8

### メチルアルコール用 分析用基本データ連絡票

(記入後、試料に同封のこと)

記入年月日:200 年 月 日

施設名	運送名										
所属	e-mail										
電話番号	FAX番号										
患者	症例番号 ( <i>イニシャル等</i> )										
発生年月日	年齢	性別	カ月	1. 男性	2. 女性	月	日	時	分(24時間制)		
試料保存状況	1. 冷凍 2. 未凍 3. その他( )										
肝炎ウイルス検査	1. 錯性	2. 開放性	3. 未検査	その他の検査( )							
ドライエージング	1. 実施	2. 禁忌	3. 実施の場合は、陽性反応が出来たものに○	PCP	BZO	COC	AMP	THC	OPI	BAR	TCA
送付試料リスト											
試料NO.	採取時刻の目安	採取日時(正確に記録する)		種類		本数		備考			
血液①	来院時	月	日	時	(24時間制)	分	全血	その他の )			
血液②	来院後12時間	月	日	時	(24時間制)	分	全血	その他の )			
血液③	来院後48時間	月	日	時	(24時間制)	分	全血	その他の )			
血液④	来院後72時間	月	日	時	(24時間制)	分	全血	その他の )			
血液⑤	来院後1週間	月	日	時	(24時間制)	分	全血	その他の )			
尿	来院時	月	日	時	(24時間制)	分	全血	その他の )			

その他 特記事項等

厚生労働省研究費補助金化粧品アレルギー研究会実験室会員によるヒトデータの利用に関する規約  
財團法人日本中毒情報センター

厚生労働省研究費補助金化粧品アレルギー研究会実験室会員によるヒトデータの利用に関する規約  
財團法人日本中毒情報センター

## 資料8

### 生物試料の採取・保存法

#### 1. 全般的注意

- 再検査が可能ないように、採取した試料は必ず2本に分け、-20°C以下で凍結保存する。
- 凍結時の融解等を考慮し、試料は試料保存容器の6~7割程度の容量を入れる。
- 輸送中に容器のフタが開くことがあるので、フタをしたままパラフィルム(商品名など)でつまみ巻く。
- 試料採取までに気管挿管等で薬物を使用した場合、解剖剥離等も含め、採取時の状況に關して特記すべきことがあれば、資料③「分析用基本データ連絡票」に明記する。
- 可能であれば、来院時の尿(ドライエージング)用薬物検出キットによる簡易定性検査を行い、その結果を資料④「分析用基本データ連絡票」に記入する。

#### 2. 血液(全血)について

##### 1) 採血時期・回数

来院時は、来院後できる限り早期に採血する。以後の採血は下記のタイムスケジュールを基本とする。

・ 基本のタイムスケジュール

来院時、①採血後 1日(24時間)、④来院後3日(72時間)

・ 採血時刻は上記タイムスケジュールから前後しても差し支えない。また、欠損した時間があつても検討対象とする。

・ ことは可能であるが、いずれの場合も採血した時刻を正確に記録することが重要である。

##### 2) 採血量・手順

・ 気弱な接觸を避けるため、血液ガス分析用の採血栓に複数、下記要領で行う。

①ヘビン入りのディスポーザブルのシリコンジに、全血2mlを採取する。

②注射器を外してストッパー(れい込み式のプラチャック)で詰をする。

③リボウルを入れて、-20°C以下で凍結保存する。

・ 一般的の試料保存容器に患者イニシャル、採血時刻、試料の種類を、漏れてもはがれないラベルもししくは油性ペンを用いて明記した後、試料を入れる。試料の取扱いがないと、細心の注意を払う。

3) 導管・保存容器 ディスポーザブルシリシング(動脈血採血管)の粉末ヘパリン入り2.5mlシリシング等。

試料採取・保存容器 ディスポーザブルシリシング(動脈血採血管)の粉末ヘパリン入り2.5mlシリシング等。

この場合、輸送用の簡包時には注意が必要である。

れい込み式のプラチャック(手袋)等には注意が必要である。

#### 3. 尿について

・ 来院時の尿を採尿管2本に採取し、-20°C以下で凍結保存する。

#### 4. 試料送付について

- ・ 本研究室の試料送付専用の空配便伝票を、送付先や送付手順を記載した資料(生体試料の送付方法1、冷凍專用シール等)とともに、追って事務局より送付するので、到着するまでの間は試料を凍結保存する。

#### 5. 試料収集全般に関する連絡先

〒652-0036 大阪府大阪市北区船場西2-2-1 ニューベリモビル

Tel: 072-726-9927 FAX: 072-726-9929 電子メール: poisoncase@j-poisonic.or.jp

ヒト急性中毒症例収集 ホームページ http://www.j-poison-ic.or.jp/poisoncase.nsf

メチルアルコール用  
急性中毒症例調査用紙

資料8

基本情報

記入年月日 20 年 月 日

症状 1

メチルアルコール用紙  
急性中毒症例調査用紙

資料48

施設名				出芽年月日・時刻			出芽年月日・時刻			特記事項			
記入者名		口渴	月	時	分		口渴	月	時	分			
記入者所属		嘔吐	月	時	分		嘔吐	月	時	分			
患者		嘔吐	月	時	分		嘔吐	月	時	分			
既往症の有無	1. 無 2. 有( )	嘔吐	月	時	分		嘔吐	月	時	分			
中毒原因物質	商品名	量(単位もあわせて)	月	時	分		量(単位もあわせて)	月	時	分			
メチルアルコール合計量	%		月	時	分		メチルアルコール合計量	月	時	分			
情報源	1. 自己申告、2. 目撲者の申告、3. 家族や知人、4. 救急隊、5. 警察、6. その他( )	99. 不明	月	時	分		情報源	月	時	分			
状況説明	1. 情報の取扱い、2. あり【1. ポルレ、2. ラベル、3. その他の( )】	99. 不明	月	時	分		状況説明	月	時	分			
現物持参	1. なし、2. あり【1. ポルレ、2. ラベル、3. その他の( )】	99. 不明	月	時	分		現物持参	月	時	分			
経路	1. 頭口、2. 咽入、3. 静皮、4. 間接、5. その他( )	99. 不明	月	時	分		経路	月	時	分			
発生年月日	1. 燃瓦の場合 20 年 月 日	(24時間単位) 分~	月	時	分		発生年月日	月	時	分			
発生場所	1. 屋内 2. 街歩場 3. 医療施設 4. 高齢者施設 5. 学校・幼稚園・保育所、6. 屋内の公共スペース、7. 車内、8. 屋外、9. その他、10. 不明	99. 不明	月	時	分		発生場所	月	時	分			
状況	1. 不運【1. 実況、2. 医療上の事故、3. その他の誤用、4. その他の事故、5. 不明】	99. 不明	月	時	分		状況	月	時	分			
	2. 故意【1. 自殺企図・自傷行為、2. 医療上の事故、3. その他の誤用、4. 乱用、5. 意図、6. 不明】	99. 不明	月	時	分			状況	月	時	分		
既往歴	3. その他(具体的に( ))	99. 不明	月	時	分		既往歴	月	時	分			
ノ開院状況			月	時	分		ノ開院状況	月	時	分			
受診年月日	20 年 月 日 時 分(24時間単位)		月	時	分		受診年月日	月	時	分			
症状の有無	1. 未診物(初診時所見) 1. 無、2. 有、9. 不明		月	時	分		症状の有無	月	時	分			
未診物(初診時所見)	1. 無、2. 有、9. 不明		月	時	分		未診物(初診時所見)	月	時	分			
初診時 体温 ℃	/		月	時	分		初診時 体温 ℃	月	時	分			
来院後(桂過中症狀)	1. 無、2. 有		月	時	分		来院後(桂過中症狀)	月	時	分			
処置の有無	1. 無、2. 有、9. 不明		月	時	分		処置の有無	月	時	分			
来院前	1. 無、2. 有		月	時	分		来院前	月	時	分			
来院後	1. 無、2. 有		月	時	分		来院後	月	時	分			
診所	1. 無、2. 有→( )		月	時	分		診所	月	時	分			
症状との因果關係	1. 無、2. 有→( )		月	時	分		症状との因果關係	月	時	分			
入院期間	20 年 月 日 ~ 20 年 月 日		月	時	分		入院期間	月	時	分			
外来通院期間*	20 年 月 日 ~ 20 年 月 日	*	月	時	分		外来通院期間*	月	時	分			
在院有無	1. 無、2. 有→( )		月	時	分		在院有無	月	時	分			
在院	1. 完治、2. 脱離、3. 死亡、9. 不明		月	時	分		在院	月	時	分			
死亡の場合は死因	死因	死因	月	時	分		死亡の場合は死因	月	時	分			
死亡の有無	1. 無、2. 有→( )		月	時	分		死亡の有無	月	時	分			
遺体処理度	1. 殡葬社、2. 灰化が骨灰の場合は骨灰を運搬する、3. 中等度(骨灰と一緒に火葬する)、4. 遺灰(骨灰を運搬する)		月	時	分		遺体処理度	月	時	分			

## 資料8

検査

## 資料8

症状 2

メチルアルコール用紙  
急性中毒症例調査用紙

メチルアルコール用紙  
急性中毒症例調査用紙

部管別	変換状況(該当するものに○)	症状・状態(該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
検査の 異常	腎機能正常	尿中上昇・クレアチニン上昇・アニオニヤーゼ上昇	月 日 時 分	月 日 時 分	尿定・不明
筋肉糸状 筋肉糸状	ミオセロビン血症・CPK上昇・乳酸脱脂酶 アミラーゼ上昇・高カリヨーザ血症	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
筋肉糸状 筋肉糸状	アミラーゼ上昇・高カリヨーザ血症	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
高血糖	高血糖	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
低血糖	低血糖	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
ナトリウム異常	高ナトリウム血症・低ナトリウム血症・ナトリウム 尿量	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
カリウム異常	高カリウム血症・低カリウム血症	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
カリウム・マグネシウム異常	カルシウム高値・カルシウム低値・カルシウム正常 マグネシウム高値・マグネシウム低値	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
全血球減少異常	多血症・貧血・白血球增多・白血球減少・白血球正常	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
白血球增多	白血球增多・白血球正常	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
白血球減少	白血球減少・多核白血球減少・单核白血球減少	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
アンドード・シス	代謝性アンドード・シス・代謝性アンドード・シス・代謝性アンドード・シス	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
血尿	血尿	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
着色尿	着色尿・ノーブルフィッシュ尿	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
尿沈渣異常	尿中シントカルシウムの结晶	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
尿定性子トト異常	尿白便・アルブミン尿・アリバク尿・蛋白尿・尿蛋白性・尿 蛋白	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
胸部レントゲン異常	肺野レントゲン・心肺野・胸膜・肺野・胸膜・胸膜・胸膜 ・胸膜・胸膜・胸膜・胸膜	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
頭部CT上血管病変	頭部血管病変・頭部内出血・頭部内出血・頭部内出血	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
頭部MRI上血管病変	頭部MRI上血管病変	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
四肢・腹腔内血管異常	四肢・腹腔内血管・腹腔内出血・腹腔内出血・腹腔内出血 ・腹腔内出血・腹腔内出血・腹腔内出血	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
その他	腓イオ・軟骨異常	腓骨筋膜室症・圧迫筋膜室症・筋肉筋膜室・筋肉筋膜室 ・筋肉筋膜室・筋肉筋膜室	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分
その他	浸透圧ギップ異常	浸透圧ギップの上昇・Anion gapの上昇	1. 頃し 2. 有り	月 日 時 分	月 日 時 分

その他 治療経過 特記事項

四肢・腹腔内血管異常

検査項目	検査日	時刻	所見
単純X線撮影	月 日 時 分	月 日 時 分	
CT	月 日 時 分	月 日 時 分	
MRI	月 日 時 分	月 日 時 分	

その他の検査

検査項目	検査日	時刻	所見
単純X線撮影	月 日 時 分	月 日 時 分	
CT	月 日 時 分	月 日 時 分	
MRI	月 日 時 分	月 日 時 分	

用者背景  
メチルアルコールと一緒にする中毒は肝硬変の影響を大きく受けるため、中島先生がお話ししていたからです。

1. 味覚障害 2. 骨外感染症 3. 腎管管・8その他 ( ) , 9. 不明

メチルアルコール用  
急性中毒症例調査用紙

資料8

治療  
内容

消化管投与	消化管投与の有無	1. 無し、2. 有り
胃洗浄	月 日 時	洗浄液
便肛一物理検査	月 日 時	
便肛一便標記写	月 日 時	
その他		

対症療法 ・支持療法	施薬アススク 輸液	1. 無し、2. 有り
アンドーンの矯正		1. 無し、2. 有り
抗酸薬の使用		1. 無し、2. 有り
昇圧薬の使用		1. 無し、2. 有り
その他		
解毒剤・拮抗剤の使用	1. 無し、2. 有り	
解毒剤 ・拮抗剤	エタノール	経路(往生・持口・その他) 併用物質(濃度)
4-MP	経路(往生・持口・その他)	1回投与量 ml × 回 痛用月 日～月 日 )
葉酸	経路(皮下注・筋注・その他)	1回投与量 mg × 回 痛用月 日～月 日
チアミン	経路(皮下注・筋注・その他)	1回投与量 mg × 回 痛用月 日～月 日
ビリドキシン	経路(皮下注・筋注・その他)	1回投与量 mg × 回 痛用月 日～月 日
その他		
休憩促進	1. 無し、2. 有り	月 日
血流透析	1. 無し、2. 有り	月 日 時間×回
腹膜透析	1. 無し、2. 有り	月 日 時間×回
血液灌流・吸着	1. 無し、2. 有り	月 日 時間×回
血液浄外濾過	1. 無し、2. 有り	月 日 時間×回
その他		
無効置換	1. 無し、2. 有り	
拒否	1. 無し、2. 有り	
その他	治療履歴 記述事項	

原因化学物質 分析の有無 1. 無し、2. 有り(定性・定量) 検体：血清・尿・その他( )

化学物質名 1. メチルアルコール、8. その他( )

分析方法 1. ガスクロマトグラフー、8. その他( )

結果 液体採取 月 日 時 分 定量値 單位 特記事項  
月 日 時 分  
月 日 時 分

資料8

メチルアルコール用  
急性中毒症例調査用紙

症例サマリー 資料紙のサマリー添付でも結構ですが、個人が特定されない形式でお願い致します

主治医コメント 中毒原因物質と症状の因果関係等を含め、先生のお感じになられたことをお書きください

## 資料9

### フッ化水素用 生体試料の採取・保存法

- 全般の注意
  - 再検査が可能なように、採取した試料は必ず2本に分け、-20°C以下で凍結保存する。
  - 凍結時の影響等を考慮し、試料は試料保存容器の5~7割程度の容量を入れる。
  - 輸送中に容器のフタが開くことがあるので、フタを上からノックフィルム(商品名)などでしっかりと巻く。
  - 試料採取までに気管挿管等で薬物を使用した場合、解剖部位等も人工透析を行った場合は特に記述すべきことがあります。資料③「分析用基本データ連絡票」に明記する。
  - 可能であれば、来院時の尿でドライエージ(乱用薬物検出キット)による前記定性検査を行い、その結果を資料④「分析用基本データ連絡票」に記入する。
- 血液(血清)について
  - 採血時刻 回数
    - 来院時は、来院後できる限り早期に採血する。以後の採血は下記のタイムスケジュールを基本とする。
    - 基本のタイムスケジュール
      - 来院時刻 (②) 来院後12時間までは4時間ごと、さらに①来院後12時間 (⑤) 来院後11日 (24時間)
      - 採血時刻は上記タイムスケジュールから前後して差し違えない。また、火候した時間があつても検討対象とすることは可能であるが、いずれの場合も採血した時刻を正確に記録することが重要である。
  - 採血量 手順
    - 定法に従い、採取した血清を試料採取容器2本に5mlずつ振り、30分程度室温で放置して充分にブレンドを析出させる。その後遠心分離して得られた血清(約2ml)を試料保存容器2本に入れ、-20°C以下で凍結保存する。
    - 個々の試料保存容器に患者イニシャル、保有時間、試料の種類を、漏れてもかかれまいラベルもしくは油性ペンを用いて明記した後、試料を入れる。試料の取扱いを、神経の注意を払う。
  - 容器
    - 血中濃度に影響を与えるおそれがあるため、採取容器・保存容器とともに血清凝固剤などの凝固剤を使用していないものを使用する。
    - 試料採取容器 採血用ガラスチューブ：血清分離器や抗凝固剤、抗血時刻、例えは、WILFAYTON(商品名など)試料保存容器 アルミニヤムグリス製栓ビン(容積6ml程度、例えは、WILFAYTON(商品名など)用意できない場合にはマイクロチャーパー(容積6ml、保冷)など各種瓶で処理して容器でも可
- 尿について
  - 来院時の尿を採尿管2本に採取し、-20°C以下で凍結保存する。

#### 1) 採血時刻 回数

・来院時は、来院後できる限り早期に採血する。以後の採血は下記のタイムスケジュールを基本とする。

①来院時 (②) 来院後12時間までは4時間ごと、さらに①来院後12時間 (⑤) 来院後11日 (24時間)

・採血時刻は上記タイムスケジュールから前後して差し違えない。また、火候した時間があつても検討対象とする

ことは可能であるが、いずれの場合も採血した時刻を正確に記録することが重要である。

#### 2) 採血量 手順

・定法に従い、採取した血清を試料採取容器2本に5mlずつ振り、30分程度室温で放置して充分にブレンドを析出させる。その後遠心分離して得られた血清(約2ml)を試料保存容器2本に入れ、-20°C以下で凍結保存する。

・個々の試料保存容器に患者イニシャル、保有時間、試料の種類を、漏れてもかかれまいラベルもしくは油性ペンを用いて明記した後、試料を入れる。試料の取扱いを、神経の注意を払う。

#### 3) 容器

・血中濃度に影響を与えるおそれがあるため、採取容器・保存容器とともに血清凝固剤などの凝固剤を使用していないものを使用する。

試料採取容器 採血用ガラスチューブ：血清分離器や抗凝固剤、抗血時刻、例えは、WILFAYTON(商品名など)試料保存容器 アルミニヤムグリス製栓ビン(容積6ml程度、例えは、WILFAYTON(商品名など)用意できない場合にはマイクロチャーパー(容積6ml、保冷)など各種瓶で処理して容器でも可

#### 3. 尿について

・来院時の尿を採尿管2本に採取し、-20°C以下で凍結保存する。

#### 4. 試料送付について

・本研究の試料送付専用の宅配便伝票を、送付先や送付予期を記載した資料(生体試料の送付法、冷凍専用シール等とともに)に添付して事務局より送付するので、利害するまでの責任を承認保存する。

#### 5. 試料・症例収集全般に関する連絡先

ヒト急性中毒症例収集事務局：財團法人日本中毒情報センター 症例収集担当 渡波野所長、野村恭次

Tel. 036-036 大阪府茨木市立川西2-2-1 ニューエリモビル

ヒト急性中毒症例収集ホームページ http://www.j-poison-ic.or.jp/poisoncenter.usf

### フッ化水素用 分析用基本データ連絡票

(記入後、封札に同封のこと)

記入年月日:2000 年 月 日

封筒名

連絡者名

所属

e-mail

電話番号

FAX番号

（資料①に記載の番号）

患者

症例番号

（資料①に記載の番号）

患者識別

(ニンジャラ等)

年齢

歳

性別

男

年齢

女

発生年月日

1.確定 2.推定 9.不明

月

日

時

分

月

日

時

分

(24時間制)

試料保存状況

1.冷凍 8.その他( )

肝炎ウイルス検査

1.陰性 2.陽性 3.未検査

その他の検査( )

1.陰性 2.陽性 3.未検査

ドライエージ

1.実施 2.未実施

(乱用薬物検出キット)

実施の場合、陽性反応が出たものに○ PCP BZO COC AMP THC OPI BAR TCA

送付試料リスト

試料NO.	採取時刻の目安	採取日時(正確に記録する)	種類	本数	備考
血液①	来院時	月 日 時 (24時間制)	血清	1	その他の( )
血液②	来院後4時間	月 日 時 (24時間制)	血清	1	その他の( )
血液③	来院後8時間	月 日 時 (24時間制)	血清	1	その他の( )
血液④	来院後12時間	月 日 時 (24時間制)	血清	1	その他の( )
血液⑤	来院後1日	月 日 時 (24時間制)	血清	1	その他の( )

その他 特記事項等

厚生省衛生研究所が監修した「乱用薬物検出キット研究会実験用ヒト被験者用ヒト被験品のリスク評価におけるヒトセトガルの利用に関する研究」研究会  
科学技術庁人材育成センター  
財團法人日本中毒情報センター



## 資料9

## 検査

## 資料9

## 症状2

フッ化水素用  
急性中毒例調査用紙

器官別 症状記述 (該当するものに○) 症状・体格 (該当するものに○)

	有無	出現年月日時刻	消失年月日時刻	特記事項
皮膚症状、皮膚の異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
その他の	確定 不明	確定 不明	確定 不明	
爪・毛髪の異常	1. 別し 2. 手り	1. 別し 2. 手り	1. 別し 2. 手り	
爪・毛髪の異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
検査の異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
ナトリウム異常	1. 別し 2. 手り	1. 別し 2. 手り	1. 別し 2. 手り	
カリウム異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
カルシウム異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
マグネシウム異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
白血球增多	1. 別し 2. 手り	1. 別し 2. 手り	1. 別し 2. 手り	
白血球減少	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
酸素化異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
アンドーシス	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
胸膜レントゲン異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
心電図上 不整脈	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
心電図上 波形異常	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
内視鏡上 消化管粘膜変	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
その他	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	
その他 症状記述	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	

## その他の検査

検査項目	検査日	時刻	所見
単純X線撮影	月 日	時 分	
CT	月 日	時 分	
MRI	月 日	時 分	
超音波検査 [エコー]	月 日	時 分	
内視鏡検査	月 日	時 分	
心電図検査 (ECG)	月 日	時 分	
	月 日	時 分	
	月 日	時 分	

フッ化水素使用中の事故の場合には、下記項目についても尋ねてお書きください。

使用者背景 作業の内容

原因物質分析の有無	1. 無し、2. 有り (定性・定量)	液体: 血清・尿・その他( )
化学生物質名	1. フッ素イオン(+)、8. その他( )	
分析方法		
結果 検体採取	月 日 時 分	月 日 時 分
心電図検査 (ECG)	月 日 時 分	月 日 時 分
	月 日 時 分	月 日 時 分

財团法人日本中毒情報センター

ツツ化水素用  
急性中毒症例調査用紙

資料9

治療1

資料9

サマリー・コメント

ツツ化水素用  
急性中毒症例調査用紙

症例サマリー 貴施設のサマリー添付せても結構ですが、個人が特定されない方式でお願い致します

内容	
治療大分類 治療小分類	皮膚接触
皮膚接触	消化管接触の有無
眼洗浄	月 日 時 洗浄液 総洗浄量 mL
その他	月 日 時 洗浄液 総洗浄量 mL
希臘	希臘水・ミルクの採取) 月 日 時 摂取物質 摂取量 mL
その他	月 日 時 洗浄液 総洗浄量 L
対症療法	心マッサージ 1.無し 2.有り
・支撑療法	除細動 1.無し 2.有り
挿管	ベースメーカー 1.無し 2.有り
人工呼吸	加温 1.無し 2.有り
輸液	冷却 1.無し 2.有り
輸血	アンドーシスの矯正 1.無し 2.有り
抗酸化剤の使用	昇圧剤の使用 1.無し 2.有り
その他	解毒剤の使用 1.無し 2.有り

解毒剤	解毒剤・拮抗剤の使用 1.無し 2.有り
・拮抗剤	塩化ナトリウム (持続静注) 一回投与量 mg× 回 間隔 月 日～月 日
	グリニン酸カルシウム (持続静注) 一回投与量 mg× 回 間隔 月 日～月 日
	経筋(静注) 一回投与量 mg× 回 間隔 月 日～月 日
	経筋(皮下・筋膜・動脈注入) 一回投与量 mg× 回 間隔 月 日～月 日
	経筋(その他) 一回投与量 mg× 回 間隔 月 日～月 日
その他	

挿道促進	強制利尿 1.無し 2.有り 月 日
血液透析	血液透析 1.無し 2.有り 月 日 時間 × 回
腹膜透析	腹膜透析 1.無し 2.有り 月 日 時間 × 回
その他	

外科的処置	抜爪 1.無し 2.有り 月 日 部位
局所切除	経皮切開 1.無し 2.有り 月 日 部位
焼灼	拒否 1.無し 2.有り
その他	

その他 治療副連 特記事項

主治医コメント 中薬因物質と症状の因果関係等を含め、先生のお感じになつたことをお書きください

# 資料10

## トリカブト用 分析用基本データ連絡票

(記入後、試料に回封のこと)

施設名	運送者名						
所属	e-mail						
電話番号	FAX番号						
患者番号	(資料①に記載の番号)						
患者識別 (二重表示等)	年齢 カ月 1. 男性 2. 女性						
発生年月日	1.確定 2.推定 9.不明 月 日 時 分~月 日 時 分(24時間制)						
試料保存状況	1.冷蔵 8.その他( )						
肝炎ウイルス検査	1.陰性 2.陽性 3.未検査 その他検査( ) 1.陰性 2.陽性 3.未検査						
ドライエージ (主用試料抜き) 送付の場合は、陽性反応が出たものに○	PCP BZO COC AMP THC OPI BAR TCA						
送付試料リスト							
試料NO.	採取特約の日安	採取日時(正確に記載する)	種類	本数	備考		
血液①	来院時	月 日 時 分(24時間制)	血液				
血液②	来院後4時間	月 日 時 分(24時間制)	血液				
血液③	来院後8時間	月 日 時 分(24時間制)	血液				
血液④	来院後12時間	月 日 時 分(24時間制)	血液				
血液⑤	平院後1日 (24時間)	月 日 時 分(24時間制)	血液				
胃内容物	来院時	月 日 時 分(24時間制)	その他( )				
尿	来院時	月 日 時 分(24時間制)	その他( )				
		月 日 時 分(24時間制)	その他( )				
		月 日 時 分(24時間制)	その他( )				
		月 日 時 分(24時間制)	その他( )				
		月 日 時 分(24時間制)	その他( )				

その他 特記事項等

厚生省衛生科学研究所環境健康化学リスク研究室「家庭用化粧品のリスク管理におけるヒトデータの利用に関する研究」研究会  
所長:鈴木信也 日本中毒情報センター

## トリカブト用 生体試料の採取・保存法

### 1. 全般の注意

- ・再検査が可能のように、採取した試料は必ず2本に分け、-20°C以下で凍結保存する。
- ・凍結時の膨脹等を考慮し、試料は試料保存容器の0~7割程度の容量を入れる。
- ・輸送中の容器のフタが開くことがないよう、ラミネートパッケージ(商品名など)でしっかりと巻く。
- ・試料採取までに気管挿管等で薬物を使用した場合、解毒剤等と併せて投与した場合等も含め、採取時の状況に応じて特許すべきことはあれば、資料③「分析用基本データ連絡票」に明記する。
- ・可能であれば、来院時の尿とドライエージ(乳川薬物検出キット)による簡易定性検査を行い、その結果を資料①「分析用基本データ連絡票」に記入する。

### 2. 血液(血清)について

#### 1) 採血時刻回数

・来院時は、来院後できる限り早期に採血する。以後の採血は下記のタイムスケジュールを基本とする。

- ・基本のタイムスケジュール
- ・来院時、②来院後12時間まで呼嚥ごとに、ささらに来院後24時間の計4回採取する。
- ・来院時から上記タイムスケジュールから前後しても差し支えない。また、久假した時間があつても検討対象とする。

・採血時刻は可能であるが、いずれの場合も採血した時刻を正確に記録することが重要である。

#### 2) 採血量・手順

・方法に従い、採取した血液を試料採取容器に5mlずつ採り、30分程度室温で放置して並行にフィルタリングを取出させる。その後、遠心分離して得られた血清(約3ml)を試料保存容器2本に入れ、-20°C以下で凍結保存する。

・個々の試料保存容器に患者イニシャル(採血時刻、採料の勘定を、漏れてもばれられないラベルもしくは油性ペン)を用いて明記した後、試料を入れる、試料の取り扱いが何う、細心の注意を払う。

・血中濃度に影響を与えるおそれがあるため、採取容器・保存容器とともに血沈液剤などの添加剤を使用してしないものを使用する。  
試料採取容器 採血用ガラスチューブ・血清分離器や抗凝固剤・新固価進剤の入っていないもの  
試料保存容器 アルミニヤング付ガラス吸式試料ヒーリング6ml程度、例えは、WILHINGTON(商品名など)用意で可かた。場合にはマイクロチューブ(容器6ml程度)など各種容器で使用している容器でも可

### 3. 胃内容物について

- ・吐物もしくは胃内容物吸引液(胃洗浄を行った際は微温湯や生食を入れる前)を、そのまま試料保存容器2本に採取し、-20°C以下で凍結保存する。(リカリブト取扱の施設等に利用することがある。)

試料保存容器 ガラス製もしくはセレン製の試験管  
細脂によっては、液体により破損することがあるので注意する

### 4. 尿について

・来院時の尿を採尿管2本に採取し、-20°C以下で凍結保存する。

### 5. 試料送付について

- ・本研究の試料送付専用の宅配便伝票を、送付先や送付手順を記載した資料(生体試料の送付法)、冷凍車用シール等とともに追って事務局より送付するので、利害あるまでは試料を凍結保存する。

### 6. 試料・症例収集全般に関する連絡先

ヒト急性中毒症例収集事務局:財團法人日本中毒情報センター 症例収集担当 波多野伸生、野村奈央  
〒562-0036 大阪府茨木市松原2-2-1 ニューエコモビル  
TEL: 072-726-9926 FAX: 072-726-9929 電子メール: poison@ic.or.jp  
ヒト急性中毒症例収集 ホームページ http://www.j-poison-ic.or.jp/poisencenter.net

# 資料10

# 資料10

## 基本情報

トリカブト用  
急性中毒症例調査用紙

記入年月日 20 年 月 日

## トリカブト用

急性中毒症例調査用紙

## 資料10

特記事項

施設名	運転手TEL	出現年月日時刻	昭和年月日時刻
記入者名		月 日 時 分	月 日 時 分
記入者所属		既定・推定・不明	既定・推定・不明
患者	量(単位もあわせ)	既定・推定・不明	既定・推定・不明
既往症の有無	1. 無 2. 有( )	既定・推定・不明	既定・推定・不明
中毒原因物質	植物名	既定・推定・不明	既定・推定・不明
中例原因物質		既定・推定・不明	既定・推定・不明
トリカブト		既定・推定・不明	既定・推定・不明
部位	1. 頭頸 2. 背 3. 肩 4. 花 5. その他( )	既定・推定・不明	既定・推定・不明
情報源	1. 自己申告 2. 目撲者の申告 [1. 家族や知人、8. その他( )] 3. 取扱説 [1. 家族や知人、2. 救急隊、3. 警察、6. その他( )]	既定・推定・不明	既定・推定・不明
現物持參	1. なし 2. あり(具体的に)	既定・推定・不明	既定・推定・不明
現物名判断根拠	1. 自己申告 2. 取扱物と別離等との照合、3. 単純な鑑定、4. その他の( )	既定・推定・不明	既定・推定・不明
経路	1. 鼻口、2. 眼入 3. 食入 4. 花、5. その他( )	既定・推定・不明	既定・推定・不明
発生年月日	1. 植定の場合 20 年 月 日 時 分(24時間表示) 2. 植定の場合 20 年 月 日 時 分~	既定・推定・不明	既定・推定・不明
発生場所	1. 屋内 2. 付事場 3. 医療施設 4. 高齢者施設 5. 学校・幼稚園・保育所、6. 屋内の公共交通機関、7. 車内、8. 屋外、9. その他、99. 不明	既定・推定・不明	既定・推定・不明
状況	1. 不適 [1. 尿炎、2. 医療上の事故、3. その他の誤用 6. その他の不慮の事故、9. 不明] 2. 放棄 [1. 自殺企図、自爆行為、2. 医療上の事故、3. その他の放棄使用、4. 手足、6. 悪魔による事故、9. 不明] 3. その他(具体的に)	既定・推定・不明	既定・推定・不明
現病歴	/	既定・推定・不明	既定・推定・不明
受診年月日	20 年 月 日 時 分(24時間表示)	既定・推定・不明	既定・推定・不明
受診前(初診時所見)	1. 無 2. 有 9. 不明	既定・推定・不明	既定・推定・不明
初診時 体温 °C	1. 無 2. 有 / , 頭痛数 / 分、呼吸数 / 分、意識レベルGCSモード( )M( )	既定・推定・不明	既定・推定・不明
来院後(経過時所見)	1. 無 2. 有	既定・推定・不明	既定・推定・不明
処置の有無	来院前 1. 無 2. 有 9. 不明 来院後 1. 無 2. 有	既定・推定・不明	既定・推定・不明
診断	1. 無 2. 有( )	既定・推定・不明	既定・推定・不明
既往の有無	1. 既往 2. 既往 8. その他(具体的に)	既定・推定・不明	既定・推定・不明
入院期間	20 年 月 日~20 年 月 日	既定・推定・不明	既定・推定・不明
外来通院期間*	20 年 月 日~20 年 月 日	既定・推定・不明	既定・推定・不明
転院有無	1. 無 2. 有→他院目的 1. 直接管理 2. 救治オーラー、3. 中毒以外の基礎疾患の治療、8. その他(具体的に)	既定・推定・不明	既定・推定・不明
転帰	1. 完治 2. 験治 3. 死亡 9. 不明 死亡の場合 死亡年月日時刻	既定・推定・不明	既定・推定・不明
後遺症の有無	1. 無 2. 有→( )	既定・推定・不明	既定・推定・不明
重症度(報紙)	1. 軽症 2. 重症(軽症を基準とする)、5. 死亡	既定・推定・不明	既定・推定・不明



## 検査

## 資料10

## 症状4

トリガフト用  
急性中等症例調査用紙

器官別

登録症状(該当するものの□)の症状状況(該当するものに○)

	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
白血球減少	自血球減少・多細胞白血球少・顆粒少	月 日 時 分 確定・指定・不明	月 日 時 分 確定・指定・不明
出血傾向	出血傾向／頭部出血／DPT尾・下口ロビン病・血小板減少DSG /血栓性高凝	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
消化	消化・血管内所血・ヘモリコン症	月 日 時 分 確定・指定・不明	月 日 時 分 確定・指定・不明
検査化異常	便潜血陽性	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
アルカリシス	代謝アシニーズス・呼吸アンド・ス・呼吸不全	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
アルカリシス	代謝アシニーズス・呼吸不全	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
異常ヘモグロビン	一級医療者・血液不全・貧血腫脹性不全	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
血尿	尿色・尿ヘモグロビン・血尿	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
着色尿	ヒドロビン原・蛋白色素病／ミオグロビン原病 /ヒドロビン原	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
尿沈渣異常	円柱尿・尿中エクソラムジムの尿晶	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
蛋白尿テヌ異常	蛋白尿アルミニウム・アノ炎原・酸性蛋白質 尿	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
胸部レントゲン異常	胸膜・心筋・心室肥大・心筋充血・心筋肥厚・心筋強度 /心筋増強・心筋強度・心筋強度・心筋強度	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
心電図上不整脈	不整脈・伝導障害・S-L-P-R-L-A-P-R-O-G /房室期外収縮・心室期外収縮・心室期外収縮 /心室期外収縮	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
心電図上波形異常	心電図波形異常・心電図波形異常・心電図波形異常 /心電図波形異常・心電図波形異常・心電図波形異常	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
心エコー上心拍出量異常	心拍出量・心筋強度・心筋強度・心筋強度	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
心臓カテーテル上 血管抵抗異常	血管抵抗・末梢血管抵抗・ハイペンドライバ ・マイクロチップ	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
内膜鏡上 消化管粘膜病変	消化管粘膜病変・食管粘膜病変・十二指腸粘膜病変 ・胃粘膜病変	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
頭部CT上 脳血管病変	頭部病変・頭部内出血・脳梗塞・脳溢血	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
頭部CT上 肺呼吸	肺呼吸	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
肺幹熱検査異常	肺幹熱検査・圧上昇・蛋白增加	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
肺泡異常	肺泡炎・三相ノースイバウク・咽頭炎・気管炎	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
咽頭炎喉頭炎検査異常	咽頭炎・喉頭炎・気管炎・咽頭炎・鼻咽頭炎・扁桃炎	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
眼王・眼底検査異常	眼王・眼底・虹彩炎・眼瞼炎・眼球運動不全	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
生検異常	骨髄穿刺・骨髄検査・心臓・心臓・心臓・心臓	月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明
その他		月 日 時 分 確定・指定	月 日 時 分 確定・指定・不明

トリガフト用  
急性中等症例調査用紙  
臨床検査検査成績(別紙添付でも可)

検査項目	正常値	(単位)	月	日	時	分	月	日	時	分	月	日	時	分	月	日	時	分	月	日	時	分
赤血球(RBC)																						
白血球(WBC)																						
血漿(BS)																						
AST(GOT)																						
LDH																						
クリテシキナーゼ(CK)																						
コレステロール(CHE)																						
アンモニア(NH <sub>3</sub> )																						
総ビリルビン(TB)																						
T																						
BUN																						
クリチニン(Cm)																						
ナトリウム(Na)																						
カルシウム(Ca)																						
無機リン(P)																						
マグネシウム(Mg)																						
カルベモグロビン(MbHb)																						
カルボメグロビン(CarbHb)																						
pH																						
P <sub>O</sub> <sub>2</sub>																						
P <sub>C</sub> <sub>O</sub> <sub>2</sub>																						
BE																						
HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>																						

## その他検査

検査項目	検査日	時刻	所見
単純X線撮影	月 日	時 分	
CT	月 日	時 分	
MRI	月 日	時 分	
超音波検査[エコー]	月 日	時 分	
内視鏡検査	月 日	時 分	
心電図検査(EKG)	月 日	時 分	
心臓カテーテル検査	月 日	時 分	
脳波検査(EEG)	月 日	時 分	
脳幹聴神経検査	月 日	時 分	
脳膜炎検査	月 日	時 分	
内分泌検査	月 日	時 分	
生体感覚検査	月 日	時 分	
筋肉骨格検査	月 日	時 分	
呼吸機能検査	月 日	時 分	
プロポリュームカーブ	月 日	時 分	
尿尿分析	月 日	時 分	
標準聽力検査	月 日	時 分	
平衡機能検査	月 日	時 分	
眼底検査	月 日	時 分	
基礎代謝率	月 日	時 分	
病理組織検査	月 日	時 分	

## 資料10

トリカブト用  
急性中毒症例調査用紙トリカブト用  
急性中毒症例調査用紙

## 資料10

治療

トリカブト用  
急性中毒症例調査用紙

治療区分類	治療小分類	内容
表面除染	皮膚除染	月 日 時 洗浄液 総洗済量 L
	眼洗浄	月 日 時 洗浄液 総洗済量 mL
	その他	
本邦	希釈(水ミルクの原液)	月 日 時 投与物質 授与量 mL
	消化管除染の有無	1.無し 2.有り
	胃洗浄	月 日 時 洗浄液 総洗済量 L
	催吐・物理刺激	月 日 時
	催吐一吐根投与	月 日 時 投与物質 投与量 g
	活性炭投与	月 日 時 投与物質 投与量 g
	その他の中性粒投与	月 日 時 投与物質 投与量 g
	下剤投与	月 日 時 投与物質 投与量 g
	輸液	月 日 時 洗浄液 総洗済量 L
	内視鏡的除去	月 日 時
	その他	
	対症療法	1.無し 2.有り 心マッサージ 1.無し 2.有り
	支持療法	1.無し 2.有り 陰莖勃起 1.無し 2.有り
	挿管	1.無し 2.有り ベースメーカー 1.無し 2.有り
	人工呼吸	1.無し 2.有り 加温 1.無し 2.有り
	輸液	1.無し 2.有り 冷却 1.無し 2.有り
	輸血	1.無し 2.有り アンドベースの補正 1.無し 2.有り
	抗凝固薬の使用	1.無し 2.有り
	昇圧剤の使用	1.無し 2.有り
	その他	

主治医コメント 中毒因物質と症状の因果関係等を含め、先生のお感じになつたことをお書きください

排泄促進	強制換気	1.無し 2.有り	月 日
	洗浄和貯	1.無し 2.有り	月 日
	血液透析	1.無し 2.有り	月 日 時間×回
	腹膜透析	1.無し 2.有り	月 日 時間×回
	血液灌流・吸着	1.無し 2.有り	月 日 時間×回
	血液吸引洗浄	1.無し 2.有り	月 日 時間×回
	血漿交換	1.無し 2.有り	月 日 回
	交換輸血	1.無し 2.有り	月 日 回
	その他		
	解凍解凍	1.無し 2.有り	
	拒否	1.無し 2.有り	
	その他 治療関連 特記事項		

原因化学物質	分析の有無	1.無し 2.有り (定性・定量)	検体：血清・尿 その他( )
化学物質名			
分析方法			
結果	液体採取	月 日 時 分 定量値	単位 特記事項

郵便番号/日本中毒情報センター

郵便番号/日本中毒情報センター

## 資料11

### フグ(テトロドキシン)用 生体試料の採取・保存法

1. 全般的注意

- ・弁検者が可能なよう、採取した試料は必ず2本に分け、-20°C以下で凍結保存する。
- ・凍結前の標識等を考慮し、試料は試料保存容器の6~8割程度の容量をとる。
- ・輸送中に容器のフタが開くことがあるので、フタをした上からラバフィルム(商品名など)でつかり巻く。
- ・試料採取直までに気管挿管等で試料物を使用した場合、解剖検査や人工透析を行った場合は等も含め、採取時の状況に関して特記すべきことがあれば、試料③「分析用基本データ連絡票」に明記する。
- ・可能であれば、試料④「試料・血液(胃用試料)検査シートによる簡易定性検査」を行って、その結果を資料①「分析用基本データ連絡票」に記入する。

#### 2. 血液(血清)について

- ・采院時刻、采院後できる限り早期に採血をする。以後の採血は下記のタイムスケジュールを基木とする。
- ・基本のタイムスケジュール

采院時刻は、采院後2時間まで時間ごと、さらにに采院後24時間ごと、①采院後8時間、②采院後12時間、③采院後1日(24時間)

- ・採血時刻は1.記載時刻より2時間まで時間から前後しても差し支えまい、また、欠損した時間間があつても検討対象とすることは可能であるが、いずれの場合も採血した時刻を正確に記録することが重要である。

#### 2) 採血・手順

- ・采院時刻は1.5mlずつ採り、3分程度室温で放置しておひがみ分にインブリーンを折出させる。その後心腔内分離して得られた血清を試料保存容器2本に入れ、-20°C以下で凍結保存する。
- ・他の試料保存容器に患者ニニシャル、採血時刻、試料の種類を、漏れてもはがれないラベルもしくは油性ペンを用いて明記した後、試料を入れる。試料の取り扱いがなじみ、細心の注意を払う。

#### 3) 試器

- ・血中濃度に影響を与えるおそれがあるため、採取容器・保存容器ともに血液保存剤などの添加剤を使用して定法通り、採取した血液を試料保存容器本1.5mlずつ採り、3分程度室温で放置しておひがみ分にインブリーンを折出させる。その後心腔内分離して得られた血清を試料保存容器2本に入れ、-20°C以下で凍結保存する。
- ・他の試料保存容器に患者ニニシャル、採血時刻や抗凝固剤、凝固阻害剤の入っていないものと試料の種類を、例えば、WILHATON(商品名など)を用いて明記した後、試料を入れる。試料の取り扱いがなじみ、細心の注意を払う。

#### 4. 胃内容物について

- ・吐物もしくは胃内容物吸引液(胃洗浄を行う際は微温湯や生食を入れる前)を、そのまま試料保存容器2本に採取し、-20°C以下で凍結保存する。(フグ(テトロドキシン)採取の器具等に利用することができる。)
- ・試料保存容器 ガラス製もしくはポリエチレン製の試料管
- ・树脂などでは、測定により吸収することがあるので注意する

#### 4. 原について

- ・采院時の尿を採尿管2本に採取し、-20°C以下で凍結保存する。
- ・本研究の試料送付専用の宅配便伝票は、送付先へ送付手順を記載した資料(生体試料の送付法)、冷冻専用シール等とともに、追つて事務局より送付するので、到着するまでは試料を凍結保存する。

#### 6. 試料・症例収集全般に関する連絡先

- ・日本急性中毒症例収集事務局：財團法人日本中毒情報センター 稽例収集担当 波多野伸生、野村裕典  
TEL:072-728-9927 FAX:072-728-9929 電子メール：波多野伸生@j-poison-iic.or.jp  
波多野伸生@j-poison-iic.or.jp/poisoncenter.nsf  
ヒト急性中毒症例収集ホームページ http://www.j-poison-iic.or.jp/poisoncenter.nsf

その他 特記事項等

フグ(テトロドキシン)用 分析用基本データ連絡票 (記入後、試料に回すのこと)									
施設名									
所属									
電話番号	FAX番号								
患者 症例番号	(資料①の記載の番号)								
(患者別) (イニシャル等)	年齢 性別								
発生年月日	1. 準定	2. 慢定	3. 不明	月	日	時	月	日	時
試料保存状況	1. 治療 2. その他( )								
肝炎ウイルス検査	1. 陰性	2. 陽性	3. 未検査						
ドライエージ (用薬物検出キット)	1. 実施	2. 未実施							
送付試料リスト									
試料NO.	採取時刻の目安		採取日時(正確に記録する)		推奨		本数		備考
血液①	来院時		月 日 時 (24時間制)		分		血清		
血液②	来院後4時間		月 日 時 (24時間制)		分		血清		
血液③	来院後8時間		月 日 時 (24時間制)		分		血清		
血液④	来院後12時間		月 日 時 (24時間制)		分		血清		
血液⑤	来院後1日 (24時間)		月 日 時 (24時間制)		分		血清		
胃内容物	来院時		月 日 時 (24時間制)		分		吐物 胃内容物吸引液		
尿	来院時		月 日 時 (24時間制)		分		尿		

フグ(テトロドキシン)用  
急性中毒症例調査用紙

資料11

基本情報

施設名	記入年月日 20 年 月		
記入者名			
記入者所属	運営先TEL		
患者 例)	年齢	歳	性 別 男・女 体 重( )kg 間隔( )
既往症の有無	1. 患 2. 有( )		量(単位もあわせて)
中毒原因物質	生物名		
トランク			

部位 1. 咽肉、2. 肝臓、3. 胆囊、4. 脾臓、B. その他( ) 9. 不明

情報源 1. 自己申告、2. 目撲者の申告 [1. 家族や知人、6. その他( )] 3. 救急隊、3. 診察、B. その他( )

現物持參 1. なし、2. あり(具体的に)

生物名判明依頼 1. 自己申告、2. 現物と図鑑等との照合、3. 専門家の鑑定、8. その他( )

胸部 1. 痛口、2. 吸入、3. 錠皮、4. 眼、98. その他(具体的に)

発生年月日 1. 診定の場合 20 年 月 日 時 分の間 9. 不明

発生場所 1. 居住内、2. 仕事場、3. 医療施設、4. 高齢者施設、5. 学校・幼稚園・保育所、6. 屋内の公共スペース、7. 車内、8. 屋外、99. その他、99. 不明

状況 1. 不良 [1. 労災、2. 医療上の事故、3. その他の不適の事故、9. 不明] 2. 救急 [1. 自助企図、自傷行為、2. 医療上の事故、3. その他の誤使用、4. 乱用、6. 意図による事故、9. 不明] 3. その他(具体的に)

現前歴 /吐瀉状況

受診年月日 20 年 月 日 時 分(24時間表示)

症状の有無 来院前(直診) 1. 無、2. 有、9. 不明

来院時(初診時所見) 1. 無、2. 有

初診時 血圧 ℃、血压 / , 所拍数 / 分、呼吸数 / 分、意識レベルGOS= E ( ) V ( ) M ( )

来院後(経過中症状) 1. 無、2. 有

処置の有無 来院前 1. 無、2. 有、B. 不明

来院後 1. 無、2. 有

診断 総合 1. 無、2. 有-( ) , 9. 不明

症状との因果關係 1. 無、2. 有-( ) , 9. 不明

入院期間 20 年 月 日～20 年 月 日

外来通院期間\* 20 年 月 日～20 年 月 日 \*退院後フォローを含む

転院有無 1. 無、2. 有-1. 診断目的 1. 重症看護、2. 醫治フォロー、3. 中毒以外の基礎疾患の治療、8. その他(具体的に)

転院 1. 完治、2. 開院、3. 死亡、9. 不明 月 日 時 分 死因:

後遺症の有無 1. 無、2. 有-( ) , 9. 不明

加重度(紙路) 1. 鮎症状、2. 鮎症(けあ知りのアミナリス状態)、3. 中等症(内科的に一般病棟に入院加療を要する程度)、4. 重症(集中治療室、手術を要する)

フグ(テトロドキシン)用  
急性中毒症例調査用紙

症狀 1

資料11

特記事項

器官別	登録症状	(該当するものに○) 症状・徵候 (該当するものに○)	出現年月日 時刻	消失年月日 時刻
嘴嚙時の 判定段階	経口摺取時の刺激症状 判定段階大、判定段階小、判定段階未定	口唇等でのびれ感、刺痛感、やがた感、咽喉部、舌感覚、舌感覚不快感、咽喉部感覚不快感、咽喉部感覚不快感、咽喉部感覚不快感、咽喉部感覚不快感	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階 判定段階未定	喉嚙器の刺激症状	喉嚙器の刺激症状	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	消化器系の刺激症状	喉嚙器の刺激症状	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	神經系統の刺激症状	神經系統の刺激症状	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	循環器系の刺激症状	神經系統の刺激症状	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	創面紅斑	創面紅斑	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	創面蒼白	創面蒼白(慢性感、復元ノリが悪い)	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	発熱	発熱(発熱ノリが悪い)/高体温	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	体温低下	体温低下	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	胸痛	胸痛(心臓性胸痛)・胸膜炎由因感	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	失神	失神・極端感	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	嘔吐	嘔吐(嘔吐感)・嘔吐・胃管炎	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	腹痛	腹痛(腹痛感)・腹痛	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	便失禁	便失禁(便失禁)	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	尿失禁	尿失禁(尿失禁)	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	呼吸器 症状 呼吸引起剤は特記せよへ	呼吸器 症状 呼吸引起剤は特記せよへ	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	呼吸器 症状 呼吸抑制剤は特記せよへ	呼吸抑制剤は特記せよへ	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	努力性呼吸	努力性呼吸(呼吸困難感)・呼吸困難感	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	呼吸・吸痰手順	呼吸・吸痰手順(呼吸困難感)・呼吸困難感	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	呼吸機操作	呼吸機操作(嘔吐・嘔吐胃管脱出)・嘔吐	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	温性手音	温性手音	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	呼吸筋痙攣	呼吸筋痙攣(呼吸筋痙攣)	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	呼吸不全	呼吸不全(Autos	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	肺水腫	肺水腫(泡状肺膜)	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	咯血	咯血	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	チアノーゼ	チアノーゼ	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	浮腫	浮腫(浮腫性の充満)	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	筋弛	筋弛	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	心不全	心不全(心房纤颤・心臓搏半拍感など)心不全	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	口渴	口渴(口渴感)	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	吐瀉異常	吐瀉異常(嘔吐)	月 日 時 分	月 日 時 分
判定段階	嘔下困難	嘔下困難	月 日 時 分	月 日 時 分



## 資料11

## 検査トロトキシン

ブグ(テトロドキシン)用  
急性中毒症例調査用紙  
臨床検査成績(別紙添付でも可)

## 資料11

## 症状 4

ブグ(テトロドキシン)用  
急性中毒症例調査用紙

器官別	登録状況(該当するものに○)	出現年月日時刻	消失年月日時刻	特記事項	検査項目		(単位)	月	日	時	分	月	日	時	分	月	日	時	分	月	日	時	分
					正常値	測定																	
白血球減少		白血球少少	多集落幹細胞減少	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分																	
出血傾向		出血傾向	出血傾向	PTT	月 日 時 分	月 日 時 分																	
尿		尿	尿	PCT	月 日 時 分	月 日 時 分																	
尿検査常		尿検査常	尿検査常	尿検査常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
アルカリシス		代謝性アルカリシス	代謝性アルカリシス	代謝性アルカリシス	月 日 時 分	月 日 時 分																	
アンドーシス		代謝性アンドーシス	代謝性アンドーシス	代謝性アンドーシス	月 日 時 分	月 日 時 分																	
異常ヘモグロビン		異常ヘモグロビン	異常ヘモグロビン	異常ヘモグロビン	月 日 時 分	月 日 時 分																	
糖尿		糖尿	糖尿	糖尿	月 日 時 分	月 日 時 分																	
褐色尿		褐色尿	褐色尿	褐色尿	月 日 時 分	月 日 時 分																	
尿沈渣常		尿沈渣常	尿沈渣常	尿沈渣常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
尿定性テスト異常		尿定性テスト異常	尿定性テスト異常	尿定性テスト異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
胸部レントゲン異常		胸部レントゲン異常	胸部レントゲン異常	胸部レントゲン異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
心電図上不整脈		心電図上不整脈	心電図上不整脈	心電図上不整脈	月 日 時 分	月 日 時 分																	
心電図上波形異常		心電図上波形異常	心電図上波形異常	心電図上波形異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
心エコー上心拍出量異常		心エコー上心拍出量異常	心エコー上心拍出量異常	心エコー上心拍出量異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
心臓カテーテル上血管抵抗異常		心臓カテーテル上血管抵抗異常	心臓カテーテル上血管抵抗異常	心臓カテーテル上血管抵抗異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
消化管内鏡異常		消化管内鏡異常	消化管内鏡異常	消化管内鏡異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
頭部CT上脳血管疾患		頭部CT上脳血管疾患	頭部CT上脳血管疾患	頭部CT上脳血管疾患	月 日 時 分	月 日 時 分																	
頭部MRI上脳血管疾患		頭部MRI上脳血管疾患	頭部MRI上脳血管疾患	頭部MRI上脳血管疾患	月 日 時 分	月 日 時 分																	
脳脊液検査異常		脳脊液検査異常	脳脊液検査異常	脳脊液検査異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
脳波検査異常		脳波検査異常	脳波検査異常	脳波検査異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
組成的検査異常		組成的検査異常	組成的検査異常	組成的検査異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
明示・既往歴検査異常		明示・既往歴検査異常	明示・既往歴検査異常	明示・既往歴検査異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
生検異常		生検異常	生検異常	生検異常	月 日 時 分	月 日 時 分																	
その他		その他	その他	その他	月 日 時 分	月 日 時 分																	

財団法人日本中毒情報センター

## 資料11

フグ(テトロドキシン)用  
急性中毒症例調査用紙フグ(テトロドキシン)用  
急性中毒症例調査用紙

サマリー・コメント

治療 1

## 資料11

症例サマリー 負傷後サマリー添付でも結構ですが、個人が特定されない形ででも結構です

治療大類 治療小分類 内容

	月 日 時	洗浄液	絞洗淨量 L
表面除染	月 日 時	洗浄液	絞洗淨量 mL
眼洗浄	月 日 時	洗浄液	絞洗淨量 mL
その他			
希望 希取水・ミックの採取	月 日 時	採取物質	採取量 mL
消化管除染	1. 無し、2. 有り		
胃洗浄	月 日 時	洗浄液	絞洗淨量 L
催吐一吐根投与	月 日 時		
活性炭投与	月 日 時	投与物質	投与量 g
その他の吸着剤投与	月 日 時	投与物質	投与量 g
下根投与	月 日 時	投与物質	投与量 g
腸洗浄	月 日 時	洗浄液	絞洗淨量 L
内視鏡的除去	月 日 時		
その他			
呼吸マスク	1. 無し、2. 有り	心マッサージ	1. 気L、2. 有り
支持療法	1. 無し、2. 有り	経細胞	1. 無し、2. 有り
挿管	1. 無し、2. 有り	ベースメカニカル	1. 無し、2. 有り
人工呼吸	1. 無し、2. 有り		
輸液	1. 無し、2. 有り	加温	1. 無し、2. 有り
輸血	1. 無し、2. 有り	冷却	1. 無し、2. 有り
アンドーンスの精正	1. 無し、2. 有り		
抗痙攣剤の使用	1. 無し、2. 有り		
昇圧剤の使用	1. 無し、2. 有り		
その他			

主治医コメント 中毒原因物質と症状の因果関係等を含め、先生のお感じになつたことをお書きください

絞洗淨法 強制換気 1. 無し、2. 有り 月 日

強制換気 1. 無し、2. 有り 月 日

血洗透析 1. 無し、2. 有り 月 日 時間×回

腹膜透析 1. 無し、2. 有り 月 日 時間×回

血液灌流、吸着 1. 無し、2. 有り 月 日 時間×回

血液透析 1. 無し、2. 有り 月 日 時間×回

血浆交換 1. 無し、2. 有り 月 日 回

支被肺血 1. 無し、2. 有り 月 日 回

その他 治療開始 1. 無し、2. 有り 月 日

無効薬 1. 無し、2. 有り 月 日

拒否 1. 無し、2. 有り

その他 治療開始 特記事項

原因物質 分析の有無 1. 無し、2. 有り (定性・定量) 检体：血清・尿・その他( )

化学物質名

分析方法

結果 検体採取 月 日 時 分 定量値

単位 特記事項